

## ◆ 主な研究課題・事業 ◆

### 課題1 遠隔地における乳用種未経産牛の OPU 卵子輸送液の開発

OPU（生体卵子吸引技術）で吸引した未成熟卵子の遠隔地からの輸送を想定し、CO<sub>2</sub>ガス供給無し且つ恒温輸送器で成熟培養可能な輸送液を開発することで農家の負担軽減と効率的な高能力産子の増産を図ります。



遠隔地 OPU

### 課題2 受胎率の高い凍結受精卵の選抜手法の開発

より高い受胎率が得られるウシ体外受精卵を作製するために、胚の詳細な形態的評価や、初期卵割の過程から経時的に発生段階ごとの評価を検討し、高品質な凍結受精卵の選抜手法を開発します。受胎率向上と農家の収益向上を図ります。



ウシ体外受精卵の培養

### 課題3 夏季繁殖成績を向上させる牛群検定を用いたレシピエント牛の選定技術の確立

暑熱ストレスによる受胎率の低下は分娩のかたよりを招き年間の生乳生産を不安定化させる要因になります。牛群検定成績から得られる情報と受精卵移植の受胎率の関連性を明らかにし、不受胎要因に注目したチェックリストを作成します。



牛群検定成績の分析

### 課題4 県内食品副産物の新たな飼料調製技術の開発

畜産農家における飼料費を低減するため、新たな高密封フィルムを用いて県内食品製造業者等から発生する食品副産物（未利用資源）の調製・保存方法を確立し、県内で産出される食品副産物の有効利用と供給システムの構築に繋げていきます。



県産食品副産物(リンゴジュース粕)の採食状況

## 課題5 乳用牛改良増殖対策事業

乳用牛群の改良と酪農経営向上を図るため、県内酪農家の繁殖成績や産乳成績等の牛群検定データを分析加工し、酪農経営の指導、支援を行います。また、ゲノミック評価の選抜調査を実施するとともに、県内で生産されている遺伝的能力の高いプレミアム受精卵産子等について、OPUを活用したさらなる優良牛の効率的増産を推進します。



酪農経営の指導、支援

## 課題6 やまがた地鶏の生産振興事業

赤笹シャモ雄と名古屋種雌の交雑種を父鶏に、横斑プリマスロック種を母鶏とした「やまがた地鶏」の種卵を県内生産者へ供給しています。更に、ブランド確立に向け、生産者や関係機関と一体となって、やまがた地鶏の生産基盤の強化と販売促進強化に取り組んでいます。



「やまがた地鶏」左が雌、右が雄